

単元名	【旧】わくわく すごろく(工作)	配当時間	5時間
単元の目標	(1) 手を働かせながら材料や用具を使い，お話や出来事の表し方や飾り方など，すごろくのつくり方を工夫することができる。 (2) お話や出来事を表す形や色，ゴールまでのつながりなどを考えたり，つくったりしながら思い付くことができる。 見る，触る，遊んでみるなどしながら，お話や出来事の表し方の面白さやゲームの楽しさに気付くことができる。 (3) お話や出来事，形がつながる遊ぶと楽しいすごろくをつくることに取り組もうとする。		

標準的な展開例

02080212_001

【準備等】 身近材，画用紙，色画用紙，色紙，段ボール，絵の具，クレヨン，パス，サインペン，はさみ，のり，カッターナイフ，カッターマット

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 楽しいすごろくになるお話や出来事を考える。 o 教科書の参考作品を見て，気付いたこと発表する。 ・楽しいお話になっている。 ・たためるようになっている。 ★楽しいすごろくをつくろう 2～4 材料や方法を考えながらお話や出来事の場面を表し，それらの並べ方やつなぎ方を工夫してすごろくをつくる。 o すごろくのコースをつくったり，コースの周りを飾ったりする。 o すごろくに合った，自分が使いたいコマをつくる。 5 作品を使って友達と遊び，すごろくの場面やコースの面白さについて話し合う。（言語活動）	・教科書1・2下 P.38 ・身近にあるゲームや教科書P. 38の作品を参考にさせる。 ・すごろくの仕組みを説明する。 ・お話や出来事を表す楽しい場面の並べ方や，つなぐコースを試しながら取り組ませる。 ・考えたことを材料や方法を工夫して表す姿を捉え，見つけた工夫に共感する。 【評】 作品を通して，お話や出来事を表す形や色，ゴールまでのつながりなどを考える「発想や構想の能力」を評価する。 【評】 作品を通して，お話や出来事の表し方や飾り方など，すごろくのつくり方を工夫する「創造的な技能」を評価する。 ・遊びながら考えたことや見付けたことを中心に話し合わせる。

【 備 考 】